



withDignity

金城学院報

金城学院の明日を見つめる [ウイズ・ディグニティ]

vol.27
2016.7

[特集1]

戸莉理事長就任インタビュー
金城学院の輝ける未来と展望

[特集2]

金城学院高等学校「新・地塩館」竣工

金城学院の景色

金城学院高等学校の生徒の登校風景

戸苺理事長就任インタビュー 金城学院の輝ける未来と展望

建学の精神を礎に 使命感を醸成する教育環境作りに邁進

学院長として金城学院を牽引していらっしゃる戸苺創氏がこのたび、金城学院第9代理事長に就任されました。金城学院の歴史と伝統、建学の精神を礎とする女子教育のあり方や教育環境作りへの思いについてお話を伺いました。

Ⅰ 何をすべきかを見つけて、使命感を持ってそれに取り組める女性を育成

このたび理事長に就任するにあたりまして新たな重責を感じるとともに、あらためて金城学院のスクールモットー「主を畏れることは知恵の初め」を教育の礎として全人的な教育を行っていきたくと深く考えております。

金城学院の歴史は今から約127年前、アメリカ人宣教師のアニー・ランドルフ先生が名古屋に設立した女学専門冀望館にはじまります。当時はまだ女子に学問は必要ないと考えられていた時代ですが、ランドルフ先生

は自らの使命と考えて施されました。その後、アメリカ南長老教会から召命されたエラ・ヒューストン先生が引き継がれました。ヒューストン先生も日本に永住する覚悟と使命感を持って女子教育に力を注がれました。ヒューストン先生の教育は大変厳しく、絶えず生徒たちに「You must have dignity (品位を持ちなさい)」と指導されてきました。こうした女子教育に対する情熱や決意は並大抵のことではなかったと思います。金城学院の生徒たち、また学生たちにはこれからも機会ある

たびにランドルフ先生やヒューストン先生の思いや建学の精神を学んでいただき、在学中に自分自身が何をすべきかを見つけて使命感を持って将来の夢に向かって取り組んでほしいと思います。それが将来、社会に貢献できる女性となる礎になると信じています。

今の社会においては、女性でないと発揮できない力や可能性があるとは私は考えております。たとえば男性と女性が同じように仕事をしていても、その感性や能力の違いで内容や結果は違ってくることでしょう。また昨今では女性がリーダーシップを取ることも多くみられ、こうした女性の多くは女子大学出身であり、特に東海エリアでは金城学院大学出身者が多いといわれています。女子大学は女性の豊かな感性や能力を醸成する場であり、理事長としてあらためて今後もその環境を堅持、発展させていかななくてはならないと考え、その責務を果たしていきたいと思っています。



学校法人金城学院
戸苺 創 理事長

2001年に名古屋市立大学小児科教授、2007年に名古屋市立大学病院病院長、2014年に同大学理事長・学長を経て2015年4月学校法人金城学院学院長に就任。2016年1月理事長に就任。



「よりよい影響を与えられる環境作りや教職員の意識改革に尽力

人は、お互いに影響を与え合いながら成育する生き物です。赤ちゃんのころはお母さんの行動や心に影響を受けながら育ち、学校に入学すれば教員はもちろんのこと、友達からも多くの影響を受けて成長していきます。その要となるのは心の教育であり、本学院の心の教育のよりどころとなるのはキリスト教の教えです。子どもから大人へと健やかに成長し、豊かな人生の礎を築いていくこの時期こそ、キリスト教教育のもとで学ぶことが大切だと感じています。

また学校という教育環境においては、教職員の存在や影響が大きいものです。幼稚園、中学、高校、大学とそれぞれに教育内容や教職員の立場は変わりますが、往々にして生徒や学生たちは教職員の言動の模倣をして成長していきます。まずはそのことに私たち教職員が気づき、生徒や学生たちにより影響を与える存在となるよう、自らの姿をあらためて見つめ直す必要があります。

たとえば大学の本部棟には履修支援センターや学生生活支援センター、キャリア支援センターなど学生のキャンパスライフを支援するさまざまな機関があります。そこにいる職員はみな、訪れる学生たちの悩みや相談に親身になって対応し、きめ細かなアドバイスをしています。こうした姿勢は学生たちにより影響を与えていると思います。とてもすばらしいことであり、今後も守っていくべき環境や関係性であると実感しています。

中学、高校では毎朝礼拝を行い、生徒たちは常に建学の精神に触れ、キリスト教教育の充実した環境に身を置いて学んでいます。こうした全人的な教育が実を結び、ときに一般の方々からお褒めの言葉をいただくこともあります。中学、高校は人として大きな成長を遂げる多感な時期です。だからこそ毎朝の礼拝や日々の学校生活を通して、金城生としてのDignityをきちんと身に付けられる環境をこれからも提供していきたいと

考えています。

金城学院の卒業生の多くは「友達に恵まれた」といい、卒業をしても「金城学院が好き」と話します。家族やご親族が多世代にわたって通われた方々も多く、金城学院愛を持っていただいています。これはまさに金城学院の大きな特徴であるとともに、誇りでもあります。

教育の目的は、学問だけではなく生きていく上での作法を教えることでもあります。時代とともに教育の現場や学生たちの考え方や、将来の生き方は変わっていきますが、次世代につないでいくという大きな流れには変わりはありません。そのことを忘れず、理事長として伝統と名誉を守り続けるという使命感を持って教育に携わっていかなくてはならないと思っています。

次の100年を見据え、さらなる金城学院の発展、建学の精神にもとづいた次世代の女子教育の実現に尽力していきたいと思っています。



特集2

金城学院高等学校「新・地塩館」

充実した設備で 主体的な学びを支援

高校の新校舎「地塩館」がこのたび完成、
昨年12月17日には献堂式が執り行われました。

高校の中心である榮光館との調和を大切に、充実した学習設備も備えた地塩館に
込められた思いについて、深谷昌一校長にお話を伺いました。

知的好奇心を育て 学院の文化を創る

地塩館は生徒たちの新たな学力
育成の場であり、生活の場でもありま
す。今回の地塩館建て替えでは、第
一に生徒たちが自由にのびのびと健
やかな高校生活を送ることができるよ
うな空間作りを大切にしました。吹き
抜けを中心に口の字型で各教室が

結ばれた構造は風が通り抜けるだけ
ではなく、万が一の場合に生徒たち
が速やかに避難できるよう、安全を
考えた設計にもなっています。また新
しい教育に対応できるよう各教室には
プロジェクターとスクリーンを設置、図
書館とプレゼンスペースを備えたメ
ディアライブラリーは、生徒たちの知
的好奇心や探究心を育成する学び
の中心として新設しました。



深谷昌一 校長

金城学院高等学校「地塩館」の歴史



1889年 下堅杉町に女学専門冀望館を創立

1900年 白壁4丁目に校舎を移築

1934年 地塩館竣工(木造)

1936年 榮光館竣工

1945年 空襲により校舎全半壊

1948年 地塩館竣工(木造)
1950年に増築

1963年 地塩館竣工(コンクリート東側3教室)
1971年に増築(コンクリート西側7教室)

2015年 地塩館竣工



正面エントランスに刻まれたスクールモットー
「主を畏れることは知恵の初め」



エントランスホールには
エラ・ヒューストンの言葉が記されています
「You must have dignity.」

竣工

1年生の階は“信仰”のブルー、2年生は“希望”のグリーン、3年生は“愛”のピンクで内装されています。これらの色は聖書から引用されており、すべて生徒たちが考えて決めたものです。金城学院の中高教育スローガンである「自立・自律・連帯」を実践し、みんなで知恵を出し合って考え、決めたことは生徒たち自身の喜びにつながると同時に地塩館の歴史の一コマとなり、金城学院の文化となって後輩たちにも語り継がれていくことと思います。

榮光館との調和を考慮 新しい歴史を刻む場に

今回の建て替えに伴う旧地塩館の取り壊しにあたり、生徒たちは「先輩た

ちも大切に使ってきた校舎だから、最後はきれいに掃除をしてお別れしよう」と全員で掃除を行いました。卒業生たちの思い出がたくさん詰まった地塩館の歴史の重みを感じ、大切にその豊かな心をいつまでも持ち続けてほしいと願っていますし、そういうみずみずしい感性を育む場にしていかなければならないと考えています。

またこれらのこととは別に、もう一つ重要視したのは金城学院の原点である榮光館との「調和」です。榮光館では毎朝礼拝を行います、生徒たちが神様に祈りを捧げる敬虔なその時間と環境をよりすばらしいものにしたと考え、陽光がたっぷりと降り注ぐように、榮光館と地塩館との距離や高さを緻密に計算してもらいました。また

榮光館の北側にある世光館も榮光館での礼拝を厳かで静かな時間にするために、外界の音を遮断する役割を果たしてくれています。さらに地塩館の外観の色調も、オフホワイトの榮光館に合わせた優しい色合いに仕上げられています。

このように充実した設備を備え、榮光館との調和も図られた新しい地塩館はまさに神様の愛に優しく包み込まれるようなすばらしい建物となりました。生徒たちはここで豊かな思考力や表現力、判断力を育てていきます。ここにまた、数え切れないほどの思い出が刻まれていくことでしょう。

新たな歴史を歩みはじめた地塩館での高校生活が、生徒たちにとってより充実した日々となることを願っています。

科学的思考・表現・協働する力を育成

教室の設備を充実させ 主体的な学びを支援

新しくなった地塩館の普通教室は、生徒たちが優しさに包まれて学べるようにすべて無垢材のフローリングで仕上げられています。全教室にはプロジェクター・スクリーンが設置され、各教科の授業での資料提示や、生徒たちによるプレゼンテーションなどに使用されています。また、アクティブラーニングによって、生徒たちの主体的な学びを促し、科学的思考・表現や協働する力を育みます。



普通教室



知の中心となる メディアライブラリー

新しい地塩館に備えられたメディアライブラリーは、9万冊の蔵書だけではなく、プロジェクターやPC、AVコーナーなどを備えた学びの中核場所となっています。

図書コーナー、閲覧スペース、学習

スペース、プレゼンスペースに分かれ、各教科の探究型の授業に活用されています。また、2クラス分の人数が収容できるため、合同授業の場としても利用されています。

ほかに『Dignity』の授業で使用できる書籍も充実しており、AVコーナーでは映像による教材を使用することもできます。グループディスカッションなどが行える広い場所を備え

ているのも特徴の一つで、ラーニングコモンズとしての機能も持っています。

さらに始業前や授業後は、自主学習の場としても開放されています。メディアライブラリーには自由に利用できるPCを25台備え、無線LANにも対応しています。そのため、調べ物や資料の作成が授業と同じ場所のできる利点があります。



AVコーナー



質問室



質問室の利用は18:00まで。原則、教師が対応する場合のみ利用が可能となる。放課後以外でも質問する生徒が多く、学びに対する熱心な姿勢が窺える。



質問室や特別教室も充実 きめ細かな配慮も

新校舎には、勉強でわからないことを先生に質問できる質問室も新しく設けられました。以前は職員室の前に机を並べて先生方が対応されていましたが、生徒たちの熱心な姿に、今回独立した部屋を設けることになったのです。特に試験前は多くの生徒が利用しており、金城生の学びに対する意欲的な姿勢が窺えます。

ほかにも書道と美術が共同で使用できる芸術教室や、ドラフトチャンバー

が備えられている理科室など、特別教室も機能が充実。AV教室には各机にノートパソコンが備えられ、大変利用しやすくなっています。また収納も可能なので、別の用途で教室を利用することもできます。こうした各教室の設計には全教員が参加。授業の内容に適して生徒たちの学習意欲がより高まるような教室作りが行われました。

さらに各廊下の手洗いスペースには、鏡を多く取り付けた洗面台も広く確保してより利便性も向上、女子教育を行う場としてふさわしいきめ細かな配慮もなされています。

生徒の声

メディアライブラリーは以前より広くなり設備も充実しているので利用しやすくなりました。
『Dignity』の授業で使う
パワーポイント資料作りに活用しています。

教室などすべてがとてもきれいになって嬉しいです。
これから大切に使っていきたいと思います。

メディアライブラリー



閲覧スペース(手前)とプレゼンスペース(奥)

地塩館新校舎紹介



教室前廊下



コンピュータ室



理科室



デッキスペース

CLOSE UP

クローズアップ

金城学院大学 薬学部薬学科
奥村典子 教授

岐阜薬科大学製造薬学科卒業後、同大大学院薬学研究科博士前期課程修了。博士(薬学)。岐阜薬科大学助手、京都大学大学院農学研究科研究員、米国アリゾナ大学化学科研究員などを経て金城学院大学薬学部准教授、14年に教授就任。研究テーマは有機化合物および有機金属錯体の酸化還元挙動の分析。

自分で考える力を身に付け、変化を恐れず

興味のある研究や学びを通して社会貢献できる人に

国内外の研究の第一線で活躍されてきた経験に基づき、「自分や周りが変化していくことを恐れず、やりたいことにチャレンジしてほしい」と学生を励まされる奥村典子先生。

「真面目に・楽しく」をゼミのスローガンに掲げ、薬学を学ぶことで考える力や生涯学び続けていく力が身に付くことを学生たちに伝えつつ「自分が興味のあることを通じて社会に貢献できる人になってほしい」と日々、指導にあたられています。

Ⅰ 薬学を通じて生涯の研究テーマに出会う

もともと物理が得意で理系の大学で学びたいと思い、国家資格が取れる薬学部を選びました。高校時代はハンドボール部で頑張っていました。大学ではバスケットボール部に所属し、勉強とスポーツを両立した学生生活を送ることができたと思います。

研究の面白さに目覚めたのは大学4年生のときです。薬品分析化学講座という研究室に配属され、生涯取り組むことになる電流電圧曲線の測定を手法とする有機化合物の酸化還元挙動に関する研究に出会いました。先輩たちが先生方と実験や研究に打ち込む姿を見て感動したのを今でも鮮明に覚えています。

私が取り組んでいる研究は薬学の中でも基礎研究です。基礎系の分野は物を作る、あるいは物の性質を明らかにするために必要となります。薬学はいろいろな研究分野がある裾野の広い学問です。「理科が好きだけど何をやりたいのか分からない」と思っている学生にとって、薬学は必ずやりたいことが見つかる分野だと思います。

また薬学の魅力はさまざまなことが学べるということ以外にも「自分で考える力・生涯学び続けていく力」が身に付くことだと思います。たとえば薬局や医療の現場に就職すれば、新しい薬が絶え間なく出てきますので勉強し続け

なくてはなりませんし、薬以外にも多くのことを学ばなくてはならないでしょう。学び続ける力があれば一生成長し、変わり続けることができます。ぜひ学生にも自分自身変わり続けていくことを恐れないで頑張してほしいと思います。

私自身も昔は自分のことが中心でしたが、時を経ていろいろな経験を重ねるうちに人に感謝できるように変わりました。研究を続け、恩師から指導

やご縁をいただいたおかげで今の自分があり、それぞれの場所で大切な先生や先輩、仲間に出会うことができましたと思います。当時は辛いと思ったことも、今では自分にとってプラスになっているということを実感しています。感謝することが増えること、それはとても幸せなことだと思います。これからも感謝する心を忘れずに、研究や学生の指導に努めていきたいと考えています。

Ⅱ 興味のあることを見つけ、将来活躍できる人に

理系の研究や実験はみなで分担し、まとめて発表することがほとんどです。ゼミでも、私が取り組んでいるテーマについて共同研究という形で学生が実験を担当し、学会で発表してもらうことがあります。学生にとっては学ぶことだけではなく、仲間と協働する力が身に付くよい機会だと思います。

またゼミのスローガンは「真面目に・

楽しく」ですが、それは「幸せになるためのトレーニング」でもあります。ゼミ生の最大の目標は、興味のあることを通じて将来社会貢献できる人になること。研究や学びを通して興味のあることを見つけ、しっかりと自分の人生を歩んでもらいたいと願っています。5年後、10年後の卒業生たちの活躍を楽しみにしています。

奥村先生はどんな人!?

研究室の4、5、6年生に先生の印象を伺いました。すると「優しさに満ちあふれている」「面倒見がよくて親しみやすい」「なまけているときは厳しく指導してください、落ち込んでいるときは励ましてください」といった声が聞かれました。また「学生のために集中できる環境を作ってください」「研究熱心で尊敬しています」と学生から信頼される温かなお人柄が窺えました。



CLOSE UP

クローズアップ



金城学院中学校 国語科教師

渡邊直人先生

1964年岐阜県生まれ。南山大学文学部教育学科卒業後、公立の高等学校で教鞭を執った後、1989年から金城学院高等学校、1992年4月から金城学院中学校勤務。教科は国語を担当、部活動は卓球部の顧問を務める。

多くの人とのかかわりの中で学び、成長し 今までの殻を破り新しい自分に出会ってほしい

恩師との出会いやアルバイトを通じて教える喜びを知ったと話す渡邊先生。

国語の授業では、作品に対しての意見交換を通して

生徒たちの関心や視野を広げることに力を注がれています。

また「他者と、ともに生きる中で、自分を見つめ成長することが大切」と常に教えていらっしゃる。

Ⅰ 対話を大切に、視野や関心を広げる授業を展開

私が教師をめざした理由はいくつかありますが、中学時代に通っていた学習塾の先生と出会った影響が大きいと思います。その先生は全盲の方でしたが、教科書を隅々まで覚えて授業を行い、間違えたところのポイントも的確に指摘し、丁寧に教えてくださいました。実際に教師になってみて、その先生のことをあらためてすごい先生だと感じます。

また学生時代、塾の講師を経験したことも一つのきっかけになりました。教えるということは大変でしたが、生徒が理解し喜んでくれることにやりがいを感じました。

私が担当する国語の授業では、身近な話題から生徒の関心を引き出すようにしています。たとえば宮澤賢治の「雨ニモマケズ」では、プリントで作者の思いや自分自身の考えを整理したあとで「お金がなくても愛があれば本当は生きていけるのか」「自分自身にとっての理想の生き方とはどのようなものか」などさまざまな方向から考えを発言してもらったこともあります。まずは共通理解として作品のテーマや筆者の思いを理解すること、その上で自分の意見を持ち、共感できる部分や自分の考えと違う部分を表現できる力を身に付けてほしいと思っています。またクラスメイトの発言を聞くこと

で、同世代の友人がどう感じ、考えているのかを知ることも大切だと思います。対話を大切にしながら、生徒たちの関心や視野をさらに広げていきたいと考えています。金城学院では素直で豊かな感性を持った生徒が多いので教えることはとても楽しいです。私自身も担当教科以外のさまざまな分野の事柄にも関心を持って学ぶ教員として成長したいと思っています。

部活動では練習に取り組む姿勢などに対して、少し厳しく指導を行っています。卓球に限らずスポーツは基礎が大切ですので、基本技術の反復練習は欠かせません。生徒にとっては退屈な練習かもしれませんが、こうした日々の積み重ねの大切さを教えるとともに、真剣にスポーツに取り組むことで経験する喜びや悔しさ、厳しさを将来の自分の糧にしてもらいたいと考えています。

Ⅱ 不安定な時期を乗り越え、人間として成長を

中学の3年間は、ものすごい早さで成長を遂げる時期であり、新しい「自分」が作られる期間でもあります。まるで青虫がサナギになり、蝶になるような劇的な変化を遂げていきます。実際にサナギが羽化する瞬間が感動的であるように、不安定な時期を乗り越えて成長していく姿を見られることは、教師として本当に嬉しいこと

です。人は人の中で育つことで初めて「人間」になると私は思っています。中学時代は多くの人とのかかわりの中でさまざまなことを学びながら成長するときです。生徒たちにも自分の殻を壊して新しい自分を作っていくことや、自ら成長する意志を持つことが大切だということをこれからも伝えていきたいと考えています。

渡邊先生はどんな人！?

2年生の担任クラスの生徒たちに渡邊先生の印象を伺いました。すると「一つの作品をいろいろな視点から勉強できる」「先生の話がおもしろく、授業が楽しい」という声が聞かれました。また「意見を求めるときのパフォーマンスがおもしろい」との声もあり、楽しい国語の授業の様子が窺えました。





金城学院大学とセントレアが包括協定締結

Ⅰ 活性化へ向けイベント実施や企画提案

2016年5月6日、金城学院大学と中部国際空港株式会社が「産学連携に関する包括協定」を締結しました。

これはセントレアの活性化や地域社会の発展を大学が協力して行うもので、まずは広告とマーケティングを専攻する国際情報学部国際情報学科庫元ゼミが、実践的教育の場として活動を実施。その後は他学部も参加し語学力を活かした通訳ボランティアや、観光振興をテーマにした提案などを予定しています。

庫元ゼミ生は、「金城セントレアサポーターズ」を結成し、若い世代に向けたマーケティングやイベントの実施、女性の感性を活かしたオリジナル商品などを企画していきます。現在取り掛かっているのは、「スカイデッキをもつ



と活用する企画」「セントレアオリジナル商品企画」。学生たちは情報収集や現地調査を実施した上でアイデアを出し合い、企画のプレゼンテーションを行いました。

プレゼンではセントレアの担当者から「提案に対する客観的裏付けの重要性」や「利用者目線で細部まで考えること」などのアドバイスもいただき、学生も企業の方から学ぶことが多かった

ようです。一部提案は学生らしい発想に高い評価をいただき、セントレアの担当者と連携しながら、これからの実現に向けて現在進行中です。庫元先生は「こうした機会をいただくことで学生が大きく成長できるチャンスになっています。」とプロジェクトの意義を話していました。今後のさらなる発展に向けて、セントレアと協働していく予定です。



金城学院大学と尾張旭市が包括的に連携協力

Ⅰ 市民の健康や地域社会に貢献する取り組みを実施



奥村学長

水野市長

金城学院大学と尾張旭市は包括連携協力に関する協定を締結しました。

現在、尾張旭市が取り組んでいる地域ブランド推進事業の一環で、丸山ゼミと社食提供会社がタッグを組み、「ランチで健康プロジェクト」を実施。社食献立の一部改善に取り組んでいます。

また特別支援教育支援事業として市内小学校に在籍する発達障害や

その傾向にある子どもに対し、臨床心理学を学ぶ大学院生が個別支援を行い、特別支援教育の充実を図っています。

今後は、子ども、子育て支援に関する分野でも新たな連携事業を検討しているほか、健康・地域のまちづくりの推進や教育・文化の振興、生涯学習の推進に関することなどさまざまな面で連携、協力をしていく予定です。



子どもたちの生活の中にある祈り

Ⅰ 幼稚園はイエス・キリストとの出会いの場

入園し、上靴に履き替える習慣やリュックを自分のロッカーに入れることなど、園生活のルールを学びながら、さまざまなはじめてのことに会っていく子どもたち。祈りを捧げることもその一つです。

幼稚園では食前と降園前に必ず祈りのときを持ちます。4月、まだ慣れていない年少児と共に祈りを捧げる際は、分かりやすいことはもちろん集中力も考慮し短めの言葉を選びます。4月当初、目を閉じ祈りはじめた途端、こごごとかばかりに動き出す気配が…ゴソゴソと動く音がして、祈りの最後に「アーメン」といい、目を開けるとその場所に〇〇君と〇〇ちゃんが居ません！足音がした方を見ると手にはブロックや人形を持って遊びながら、こちらを見ます。一緒にいた年中児・年長児は「もう座ってなきゃダメだよ」「最後に一緒にアーメンというんだよ」と教えながら、根気よくかかわってくれました。数日後には離れた場所から「アーメン」と聞こえてくるようになりました。そのと

き、興味のあるものを手にしながらも、確実に子どもたちの耳に祈りの言葉が届いていると実感できました。

年中、年長児は生活の中に祈りが有ります。時折、保護者の方から家庭の中で祈っている姿や言葉に感動したとの話を聞きますし、幼稚園でも「先生の代わりにお祈りしたい」と申し出てくれることもあります。どんな祈りを捧げてくれるのか楽しみに「お願いしようかな」と祈りのときを託します。「神さま、明日は年少さんが幼稚園にはじめて来ます。泣かないで来られますように。私たちは会えるのを楽しみにしています。そのときまでみんなを守っててください。このお祈りをイエスさまによってお願いします、アーメン」。これは昨年4月、年少児の入園式前日に年長児が捧げた祈りです。

また幼稚園での礼拝を通し、子どもたちは聖書のお話を聞きます。こうしたキリスト教に親しむ生活を卒園後も送ってほしいとの願いから、年長児を対象に「私たちと一緒に教会へ行きませんか」と教会出席を呼びかけています。

夏休み、冬休みには、聖話講師の鎌田在弥先生が牧師をされている日本キリスト教団愛知守山教会の教会学校に出席させていただきました。

年長児のころからこの教会に通いはじめ、今もお通っている卒園生に会うことができました。彼は小学校高学年のとき、習い事などで教会から遠ざかりました。しかし中学生になり時間にも余裕ができて久しぶりに教会に出席したところ、とても温かく迎えてくれたそうです。

クリスチャンホームでない子どもたちは幼稚園でイエス様と出会い、その存在を知ります。卒園した子どもたちは、聖書のお話を聞いたり祈ったりすることが非日常になってしまうことが現実です。しかし幼児期に素直な心でイエス様と出会い、築いたその関係は見えない部分に根付き続け、どんなときも支えてくれると信じています。これからも幼稚園が子どもたちや保護者の方にとってイエス・キリストとの出会いの場であり続けられるようにと願っています。





高校演劇部が中部日本大会へ 渾身の演技と演出で奨励賞受賞

！ 毎日の練習や合宿を通して部員の心もより団結

昨年7月に行われた地区大会や8月の県大会を突破し、12月に行われた「第68回中部日本高等学校演劇大会」に見事出場を果たした演劇部。地区大会の前日は校内合宿も行うなどハードな練習を行ってきました。「合宿では意見の食い違いもあったけど、乗り越えることでより団結できました」と部長の中島采音さんは話します。

当日は緊張感の中、みんなで迫真の

舞台を展開。「緊張したけれど楽しかった」「裏方で先輩の舞台を支えられてよかった」などそれぞれに達成感を味わうことができました。当時の顧問、武下豪先生は「仮校舎での練習で舞台も使えない中、生徒たちは本当によく頑張って練習しました。キャスト、裏方が一緒になって舞台を作ることで協調性も育まれたと思います」と話します。今年の活躍も期待します。



生きた科学を経験するワークショップに参加

！ 科学者の指導を受けながら研究を展開

英国のクリフトン科学財団が実施する「日英ヤング・サイエンティスト・ワークショップ」。日本とイギリスの高校生を対象に、科学の研究とその応用にチャレンジする機会を提供するため約10年前から行われています。

この活動をさらに広げるため、クリフトン財団は名古屋大学を拠点に新たなワークショップを立ち上げました。名古屋大学教育学部附属中・高等学校を日本側の主催者として7月31日から8月6日まで、名古屋大学でワーク

ショップを開催します。

ワークショップのテーマは「女子研究者の育成」です。当日はイギリスの高校生とともに小規模の日英混合チームを編成し、6日間をともに研究にはげみます。

2015年度卒業生進路状況

今年度の金城学院大学への進学者数は、内部推薦者190名に一般推薦・受験での進学者19名を加えて計209名(卒業生全体の61%)で、内部推薦では多くの生徒が第一希望の学科に進学することができました。

外部受験コースでは国公立大学合格者が山形大学(医・医)1名・名古屋大学1名・名

古屋工業大学2名・名古屋市立大学1名・岐阜大学2名・神戸大学1名など合計15名となりました。

私立大学へも早稲田大学5名をはじめ慶応大学1名、上智大学3名、東京理科大学4名、青山学院大学8名、明治大学10名、立教大学2名、同志社大学4名、立命館大学5名、南

山大学22名、愛知医科(医)2名、愛知学院大(歯)4名など多くの合格者をだすことができました。

また、「協定校推薦制度」を利用し、関西学院大学へは8名、同志社女子大学へは4名の生徒が進学をしていきました。卒業生の今後のご活躍をお祈りしています。



中学校新校舎の建設開始

メディアライブラリーやICT教育を強化



このたび中学校では恵愛館、信愛館の建て替えが行われます。メイントリートの正面にはメディアライブラリーを配置。1階はグループ学習ができる場を、2階は静かな学習スペースを設けて生徒たちの知的好奇心や学びを促します。

各教室には電子黒板を導入し、ICT教育を強化。iPadを使った先進的な学習に取り組みます。また理科室のテラスは広く設けて光や風を取り込めるように配慮。さらに緑化を配し、光合成の実験などが行えるようにします。

新しい校舎は2017年夏休み前に竣工予定。今から完成が楽しみです。



コンゴ人講師を招き知った 海外の現状とこれからの課題

国際理解を深め、自分たちに今何ができるかを考える

メディアライブラリーを使い、選択科目「社会問題」の授業が行われました。

この日は講師としてコンゴ民主共和国のジェローム・カセバ氏をお迎えしてコンゴが抱える飢餓、経済発展などの問題について考えました。同氏は日本国際飢餓対策機構の現地パートナー団体として自国の避難民

に対し、自立のための農業支援を行っています。しかし、紛争により治安は悪化。依然として改善が見られません。

生徒たちはそれらの生きた体験や現地の暮らしを目の当たりにし、国際理解を深めるとともに、難民問題を考える貴重な機会となりました。



国公立大	14	専修・各種学校	3
私立大	89	就職	0
金城学院大学	209	進学準備	28
国立短期大学	0	その他(海外留学など)	1
私立短期大学	0	卒業生総数	344

(進学者実数)

2015
年度

決算報告

金城学院の2015年度の決算について、お知らせします。学校法人では学校法人会計基準という法令に基づき計算書類(決算書)を作成しますが、ここでは、事業活動収支計算書(旧:消費収支計算書)、貸借対照表、資金収支計算書の3表によって決算概要を説明します。

収支の概要

事業活動収支計算書は、次の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容並びにすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにする計算書類です。

教育活動収支は、学生・生徒・園児への教育並びに研究活動に係る収入と支出の差額であり、2015年度2億2千1百

万円となっています。

教育活動外収支は、教育活動以外の通常の活動に係る収入と支出の差額であり、2015年度9千7百万円となっています。

特別収支は、その他の臨時的な活動に係る収入と支出の差額であり、2015年度8百万円となっています。

これらの結果、基本金組入前当年度収支

差額3億2千6百万円となっています。

また、学校法人では、必要な資産を継続的に保持するため、教育・研究のために取得した固定資産の金額を基本金として留保しなければなりません。2015年度の基本金組入額は14億7千6百万円になり、その結果、当年度収支差額は△11億4千9百万円となりました。

◎ 2015年度 事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支		
収入	学生生徒等納付金	8,223,387
	手数料	128,631
	寄付金	77,668
	経常費等補助金	1,282,946
	付随事業収入	64,510
	雑収入	277,753
	教育活動収入計	10,054,895
支出	人件費	5,674,430
	教育研究経費	3,564,420
	管理経費	594,907
	徴収不能額等	0
	教育活動支出計	9,833,757
教育活動収支差額	221,138	
教育活動外収支		
収入	受取利息・配当金	96,779
	その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	96,779	
支出	借入金等利息	0
	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	0	
教育活動外収支差額	96,779	
経常収支差額	317,917	

特別収支		
収入	資産売却差額	3,452
	その他の特別収入	37,190
特別収入計	40,642	
支出	資産処分差額	32,188
	その他の特別支出	0
特別支出計	32,188	
特別収支差額	8,454	
基本金組入前当年度収支差額	326,371	
基本金組入額合計	△1,475,710	
当年度収支差額	△1,149,340	
前年度繰越収支差額	△5,365,275	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	△6,514,615	
(参考)		
事業活動収入計	10,192,315	
事業活動支出計	9,865,945	

◎ グラフで見る教育活動収支



資産・負債・純資産の概要

貸借対照表は、年度末における財政状態を明らかにする計算書類であり、資産・負債・純資産を示しています。

資産は、土地・建物等の有形固定資産、将来の特定の支出に備えるための資金を留保した特定資産、ソフトウェア等のその他の固定資産、現金預金等の流動資産から成っており、2015年度末527億6千

4百万円となっています。

負債は、返済期間が一年以内に到来しない借入金等の固定負債、返済期間が一年以内に到来する借入金・前受金等の流動負債から成っており、2015年度末111億3千4百万円となっています。なお、負債に含まれる借入金は、金城学院キャンパスマスタープラン[KMP21]によるキャン

パスの大規模リニューアルに伴う日本私立学校振興・共済事業団からの借入金です。

純資産は、外部へ返済の必要のない金城学院に完全に帰属する資産総額であり、正味財産と呼ばれています。これは、2015年度末416億3千万円となっており、2014年度末413億4百万円から3億2千6百万円増加しています。

◎ 2015年度 貸借対照表

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末
有形固定資産	36,108,473	32,434,180
特定資産	9,030,166	12,435,151
その他の固定資産	86,216	98,912
流動資産	7,539,178	7,861,256
資産の部合計	52,764,033	52,829,499

科目	本年度末	前年度末
固定負債	9,372,085	9,712,773
流動負債	1,761,806	1,812,954
負債の部合計	11,133,891	11,525,727
基本金	48,144,757	46,669,047
繰越収支差額	△6,514,615	△5,365,275
純資産の部合計	41,630,143	41,303,772
負債及び純資産の部合計	52,764,033	52,829,499

資金の動きの概要

資金収支計算書は、一年間のすべての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにする

計算書類です。2015年度は教育研究のための経費として、22億9百万円の資金が使われ、教育研究の充実が図られました

た。また、2015年度の支払資金の残高は、72億3千6百万円となっています。

◎ 2015年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	
学生生徒等納付金収入	8,223,387
手数料収入	128,631
寄付金収入	80,718
補助金収入	1,295,721
資産売却収入	15
付随事業・収益事業収入	64,510
受取利息・配当金収入	96,779
雑収入	277,490
借入金等収入	0
前受金収入	1,145,548
その他の収入	7,482,658
資金収入調整勘定	△1,407,885
前年度繰越支払資金	7,374,556
合計	24,762,128

支出の部	
人件費支出	5,670,367
教育研究経費支出	2,209,055
管理経費支出	560,714
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	353,718
小計	8,793,854
施設関係支出	4,598,851
設備関係支出	463,408
小計	5,062,259
資産運用支出	1,300,000
その他の支出	2,499,611
資金支出調整勘定	△129,486
翌年度繰越支払資金	7,235,890
合計	24,762,128

2017
年度

金城学院 学生・生徒・園児募集

2017年度の学生・生徒・園児の募集につきましてご案内いたします。

入試に先立ち、オープンキャンパスや説明会なども開催いたしますので、ぜひご参加ください。

また大学・大学院で学び直したい方、新たな資格や学位の取得をお考えの方、お子様の進路などにぜひご案内ください。

下記の内容は2016年7月現在の情報となっております。変更される場合もございますので必ず各入試の「募集要項」をご確認下さい。

2017年度入試

※詳しくはホームページをご覧ください。

▶「金城サポート奨学金」年間学費が50万円になる!

・2年次以降各学科での学業成績が上位40%以内であれば、継続して給付されるので安心です。返還の義務もありません。

給付対象 一般入試(前期)試験 成績上位者100名、センター試験利用入試(前期) 成績上位者50名!

大学・大学院入試
TOPICS

▶ネット出願で、入学検定料の負担を軽減!

・インターネットで出願すると、簡単に手続きができ、入学検定料も軽減されます。

対象入試 一般入試(前期・後期)、センター試験利用入試(前期・後期)、センタープラス方式入試

ネット出願
金城e割

▶社会人の方へ 奨学金20万円給付!

・社会人入試(大学・大学院)、社会人編入学(大学)での入学者全員に奨学金20万円を給付。

	入試種別	出願期間	入試日	合格発表日
大 学	一般公募制推薦入試※1	10月31日(月)～11月 4日(金) 必着	11月12日(土)	11月25日(金)
	一般入試(前期)[2科目型・3科目型]※2	1月 6日(金)～1月20日(金) ネット出願 1月 6日(金)～1月19日(木) 郵送(消印)	1月31日(火)・ 2月1日(水)・2日(木) ※薬学部は、1月31日(火)と 2月2日(木)のみ実施	2月11日(土)
	センター試験利用入試(前期)※3	1月 6日(金)～1月16日(月) ネット出願・郵送(消印)	個別試験なし	2月11日(土)
	センタープラス方式入試※3	1月 6日(金)～1月27日(金) ネット出願 1月 6日(金)～1月26日(木) 郵送(消印)	2月10日(金)	2月17日(金)
	一般入試(後期)	2月13日(月)～2月24日(金) ネット出願 2月13日(月)～2月23日(木) 郵送(消印)	3月 3日(金)	3月 8日(水)
	センター試験利用入試(後期)※3	2月22日(水)～3月10日(金) ネット出願 2月22日(水)～3月 9日(木) 郵送(消印)	個別試験なし	3月18日(土)
	一般編入学試験	6月15日(水)～6月22日(水) 必着	7月 2日(土)	7月 8日(金)
	社会人・外国人留学生・海外帰国子女入試 社会人編入学試験	11月21日(月)～11月28日(月) 必着	12月10日(土)	12月16日(金)
薬学部編入学試験(4年次)	2月17日(金)～2月24日(金) 必着	3月 9日(木)	3月18日(土)	
[窓口受付時間]9:00～17:00です。※1一般公募制推薦入試(適性検査型)(小論文型)は地方試験会場を設けています。地方試験は豊橋・岐阜・四日市で実施します。※2一般入試(前期)1月31日(火)・2月2日(木)は地方試験会場を設けています。地方試験は浜松・岐阜・四日市・米原(31日のみ)・金沢で実施します。※3センター試験を受験していることが出願条件となります。				
大 学 院	在学生特別入試(前期課程①)	4月22日(金)～5月 2日(月) 必着	5月14日(土)	5月19日(木)
	秋期試験 在学生特別入試(前期課程②)※4・後期課程 卒業生特別入試秋期	9月27日(火)～10月 4日(火) 必着	10月15日(土)	10月20日(木)
	春期試験 卒業生特別入試春期	1月24日(火)～1月31日(火) 必着	2月11日(土)	2月16日(木)
※4臨床心理学分野は実施しません。				
中 学 校	中学校入試	1月 6日(金)～1月16日(月) 必着 ※ネット出願可	1月21日(土)	1月24日(火) 郵送(速達)
	学校説明会 6月18日(土)9:30～13:00 場所/金城学院高等学校 お問い合わせ先:中学校事務室 TEL052-931-0821(代表)/受付時間9:00～17:00		入試説明会 11月5日(土)10:00～12:30 場所/金城学院高等学校	
幼 稚 園	幼稚園体験及び入園説明会		願書配付	願書受付
	5月の連休明けから幼稚園体験・入園説明会の予約を受け付けています。(随時受付) お問い合わせ先:幼稚園事務室 TEL052-798-0053(代表)/受付時間14:00～17:00 ※詳しくは幼稚園ホームページをご覧ください。		9月1日(木)9:00～ 願書配付は幼稚園体験・入園説明会に参加された方を対象にしています。ぜひ、幼稚園体験のご予約をください。	10月1日(土)9:00～ 優先入園枠があります。 詳しくは幼稚園へお問い合わせください。

私にとっての金城学院 vol.01



どこにいても居心地がいい、
第2の家のような大学です。

金城学院大学
コミュニティ福祉学科4年
永井 麻友さん

金城学院大学
コミュニティ福祉学科3年
東條 里帆さん

大学に入って考え方が根本から
変わり、行動力がつきました。



Q & A

01 金城学院大学の魅力は
何だと思いますか？

永井 女子大学であるところ。本音で話ができる仲間がたくさんできました。また校舎もとてもきれいで、どこにいても心地よく過ごせます。

東條 さまざまなことに挑戦できるところです。周りが女性ばかりの環境なので気兼ねなく気軽にチャレンジできるようになったと思います。

02 大学ではどのようなことを
学ばれていますか？

永井 ゼミで離島の地域再生を学び、岡山・白石島の実習で提案活動を行いました。地域の人のお話を聞き、課題を見つけることは勉強になりました。

東條 地域福祉のゼミで夏に高山へ実習に行きます。リーダーとして責任を持って地域の人と交流し、ニーズを引き出したいと考えています。

03 これからの夢や展望を
教えてください。

永井 フィールドワークで子どもや高齢者など多様な人々とのコミュニケーション力を養いました。その力を総合商社での仕事に活かしたいと思います。

東條 大学では社会の中で活躍する女性のすばらしさを学びました。私も努力と挑戦を続け、地域で輝き、社会に役立つ女性になりたいと考えています。

2016年度
聖句標語

『主はすべての国を超えて高くいまし
主の栄光は天を超えて輝く。』

旧約聖書 詩編 113編 4節

この聖句が入っている詩編113編は、神を讃美する祈りです。人を遥かに超えて存在される神が、一方で人を深く顧みられる、そこに真の神の姿があるということを言おうとしているのです。

詩編113編は、紀元前に祈られた言葉ですが、のちにキリスト教では、この神が、人類の救いのために、低きに下ってくださったのが、イエス・キリストの顕われであるととらえるようになりました。そういう意味で、キリスト教にとってとても大切な詩編なのです。

金城学院は、この天地を超えて高くいまし神を礎としています。今、世界が多文化の方向に進みつつある中で、国際関係は世界のあちこちにおいて緊張してきています。それだけに、国を超えて普遍的な平和が強く求められています。金城学院には、イエス・キリストに基盤をおいた、真に平和な世界を指し示す使命が与えられているのではないのでしょうか。

小室 尚子 (金城学院大学宗教主事)

| みどり野会 (同窓会) より |

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会で『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)旧約聖書詩篇第23篇から名付けられました

「主はわが牧者なり われ^{ぼく}乏^ひしきことあらじ
主は我をみどりの野にふさせ いこいの水^{みづ}濱にとまひたまふ」
神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後母校に集まりいこいの時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです

みどり野会からのお知らせ

召天者記念礼拝および恩師を偲ぶ会

■日 時 / 2016年10月8日(土) 10:00~12:00
■場 所 / エラ・ヒューストン記念礼拝堂
■礼 拝 / 金城学院宗教総主事 小室尚子先生
2015年7月~2016年6月までに亡くなられた恩師と卒業生のための追悼礼拝です。どなたでもご参加いただけます。

大学ホームカミングデイ(大学主催)

■日 時 / 2016年10月8日(土) ※詳細未定(大学卒業生対象)

クリスマス讃美礼拝

■日 時 / 2016年12月10日(土) 10:00~
■場 所 / 中学校白百合館礼拝堂(駐車場は利用不可)
クリスマス讃美礼拝とオーボエ演奏会を予定しています。

◎お問合せはみどり野会事務局まで

本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)

分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)

H P http://www.kinjo-midorino.com

※活動情報は会報「みどり野」をご覧ください